

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立児童発達支援センター						
指定管理者	社会福祉法人 友愛十字会						
指定期間	令和	2	年	4	月	1	日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	69	69	0	7	0	7	0	76
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数		9	12	12	13			

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和 年度	備 考
児童発達支援事業年間延利用者数	9,325	14,597	16,445	16,124		
放課後等デイサービス年間延利用者数	475	912	875	689		
居宅訪問型児童発達支援年間延利用者数	39	188	128	32		
保育所等訪問支援年間延利用者数	37	115	171	137		
障害児・計画相談支援年間延利用者数	1,257	1,658	1,428	1,306		
総合相談年間延利用者数	5,175	3,385	3,421	3,671		

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	584,833,142	607,203,079	661,405,076	674,992,553	0	
	指定管理料（清算後）	473,572,900	413,862,181	439,480,313	459,618,849		
	利用料金収入	107,004,267	188,202,898	211,685,166	205,273,003		
	その他収入	4,255,975	5,138,000	10,239,597	10,100,701		
	支出	584,833,142	590,875,550	597,713,518	639,579,175	0	
	職員人件費	355,606,395	362,038,718	364,505,555	404,215,852		
	光熱水費	4,297,690	4,766,362	6,343,771	5,638,163		
	修繕費	647,570	1,792,890	3,057,450	1,486,848		
	事業運営費	213,533,388	211,804,477	213,235,648	217,655,038		
	施設管理経費	6,748,099	6,473,103	6,571,094	6,583,274		
	その他経費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000		
	差引収支額	0	16,327,529	63,691,558	35,413,378	0	
年度協定書で定める指定管理料		431,138,446	435,352,549	439,495,360	468,702,172		

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						80 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	通園事業の待機児童対策と他事業の併用希望に対応するため、1クラスを分割し、2クラスとすることで、これまでの週5日のクラスに加え、週2日のクラス（指定日通園）を新設しました。さらに、初回相談までの待機期間解消と、児童発達支援サービスの利用を躊躇していた保護者への機会の確保を目的に、「親子サロン事業（はったつのひろば）」を令和5年度から新たに開始しました。また、区内事業所向け説明会の開催や区立保育園職員との支援に関する情報共有を行うことで地域支援に取り組むとともに、施設職員に対しては、外部講師を招き、計3回研修を実施するなど、接遇マナーの向上を図りました。
区（施設所管課）による評価	港区立児童発達支援センターの周知が進み、多くの事業で開設時よりも利用者数が増えてきています。令和5年度は、特に課題となっていたインテーク（初回面談）までの待機期間短縮の取組として、新たに「指定日通園」「親子サロン」を新たに開始するなど、利用者及び保護者のニーズを聞き取りながら、課題の解決に取り組んでいます。一方で、産休代替人員を年度末まで手配することができないなど、職員確保の課題が継続している現状もあるため、法人本部とも連携しながら、中・長期的な人材育成と職員定着に向けて、区として指定管理者を指導していきます。また、今後は就学児への更なる支援及び地域の中核的な療育支援施設としての機能拡充を期待します。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）